

2012年メモリアルデー特別集会

標 語

御父の命と御父の性質の中で生活し行動して、
御父を表現することは、栄光です。
この栄光の中で、わたしたちはみな一です。

主の最新の行動のために、すべての召会の一つ思いとなり、
一つの心と一つの道を持ち、一つ霊の中におり、一つ魂を持つこと
を学び、同じ事を語る必要があります。

今日の主の行動は、彼の民が新しい復興に入ることであり、
新約の福音の祭司職が回復されることを通して、
キリストのからだとしての召会を有機的に建造するためのものです。

今日の主の行動の方向は、
手順を経て分与する三一の神の有機体としての
キリストの有機的なからだを建造し、
花婿の配偶者としての花嫁の用意を整え、
神聖な命の拡大としての神の王国をもたらし、
神に永遠の行政を得させることです。

メモリアルデー特別集会メッセージアウトライン

(2012年5月25-28日)

主 題 :

からだの真の一、召会における正常な一つ思い、今日の主の行動の方向

メッセージ 1

キリストのからだの一の中で三一の神の栄光が現されるための主の祈り

聖書：ヨハネ 17:1-24

- I. ヨハネ第 17 章の主の祈りは、三一の神の栄光が現されること、彼の現れ、表現のためでした。神の永遠の定められた御旨は、彼ご自身を現すこと、表現することです—— 1-5 節. 創 1:26. エペソ 3:8-11 :
- A. 主イエスは肉体と成った神であり、彼の肉体は幕屋であって、神はそこにおいて地上に住むことができました (ヨハネ 1:14)。主の神聖な要素は彼の人性の中に制限されていました。それは、神のシェキナの栄光が幕屋の内側に隠されていたようにです。
- B. かつて、変貌の山で、主の神聖な要素が彼の肉体の内側から解き放たれ、栄光の中で表現されて、それが三人の弟子に見られました。しかしその後、この神聖な要素は再び彼の肉体の中に隠されました——マタイ 17:1-4. ヨハネ 1:14。
- C. 主はヨハネ第 17 章での祈りの前、彼の栄光が現され、彼の中で御父の栄光が現されることを予言しました。今や彼は死を経過しようとしていました。それは、彼の人性の隠す殻が破られ、彼の神聖な要素、彼の神聖な命が解き放たれるためでした—— 12:23. 13:31-32。
- D. さらに、彼は復活して、彼の人性を神聖な要素の中へと引き上げ、彼の神聖な要素が表現されるようにしました。その結果、彼の全存在、すなわち彼の神性と人性の栄光が現されました。こうして、彼の中で御父の栄光が現されました。ですから、彼はこのために祈ったのです——ルカ 12:49-50. ヨハネ 12:23-24. 17:1。
- E. 栄光を現す神聖な奥義に関するここでの主の祈りは、三つの段階で成就されます :
1. 第一に、この祈りは彼の復活において成就されました。復活の中で彼の神聖な要素、彼の神聖な命が、彼の人性の内側から解き放たれて、彼の多くの信者たちの中へと入って行き (12:23-24)、彼の全存在は、彼の人性を含めて、栄光の中へともたらされました (ルカ 24:26. 参照、I コリント 15:45 後半. 使徒 13:33. ローマ 1:3-4. コロサイ 1:18. I ペテロ 1:3)。また復活の中で御父の神聖な要素が、彼が復活して栄光を現すことの中

で表現されました。彼の復活において、神は彼の祈りに答え、それを成就しました（使徒 3:13-15）。

2. 第二に、この祈りは召会において成就されてきました。これは、彼の復活の命が彼の多くの肢体たちを通して表現され、彼らの中で彼の栄光が現され、彼の中で召会を通して御父の栄光が現されたからです——エペソ 3:21. I テモテ 3:15-16。

3. 第三に、この祈りは新エルサレムにおいて究極的に成就されます。これはその時、彼が栄光の中で完全に表現され、彼の中で聖なる都を通して神の栄光が現されて、永遠に至るからです——啓 21:11, 23-24。

F. ヨハネ第 14 章から第 16 章における信者たちに対する主の最後の言葉には、この栄光の三つの具体的な表現があります。すなわち、第 14 章 2 節における御父の家（召会）、第 15 章 1 節から 5 節におけるぶどうの木（キリストのからだの構成要素）、第 16 章 21 節における新しく生まれた団体の人（新しい人）です：

1. この三つはすべて召会を指しており、召会がキリストによって彼の死と復活を通して生み出された栄光ある増し加わりであることを説明しています—— 12:23-24。

2. この栄光ある増し加わりの中で、キリスト、神の御子の栄光が現され、キリストの栄光が現される中で父なる神の栄光も現される、すなわち、召会を通して完全に表現されるようにします—— 17:1, 4. エペソ 3:19-21. 参照、I コリント 6:20. 10:31。

3. この表現は三一の神の一の中で維持される必要があります。ですから、主はヨハネ第 17 章における彼の結びの祈りの中で、特にこの事柄のために祈ったのです。

4. 三一の神の最高の属性は一です。ですから、彼の信者たちの中で彼の栄光が現され、彼が表現されることは、彼が彼の一の中で表現されることです—— 21 節。

II. ヨハネ第 17 章の主の祈りは、キリストのからだの一、すなわち三一の神における信者たちの一のためでした：

A. 第一層の一は、御父の御名の中の、御父の神聖な命による一です—— 6-13 節：

1. 御父の御名は御父のパーソン、命の源、一の源としての御父ご自身を指しています—— 6, 11 節. 5:26, 43：

a. わたしたちは御父を命と祝福の源としなければなりません——参照、マタイ 14:19. ローマ 11:36。

b. わたしたちは、わたしたちの人の命によって生きるのではなく、わたしたちの霊の中の御父の神聖な命によって生き、わたしたちのすべて

を含む子たる身分を享受しなければなりません——ヨハネ 6:57. ローマ 8:15-16。

2. 御父の命と彼の性質は、一の要素です——ヨハネ 17:2. 参照、エペソ 1:4-5. ヘブル 2:10-11. I コリント 6:17。

B. 第二層の一は、聖別する言葉の実際（真理）における一です——ヨハネ 17:14-21 :

1. 御父の言葉は真理であり（17 節）、真理は三一の神です（14:6. I ヨハネ 5:6 後半）。言葉の実際によって聖別されることは、三一の神ご自身によって聖別されることです。

2. 言葉、すなわち真理は、神の民をこの世から聖別し（ヨハネ 17:17）、彼らをこの世の支配者、あの邪悪な者から守ります（15 節）:

a. 御父の実際の言葉はわたしたちを聖別し、わたしたちを純粹にして、複雑なこの世から救い出し、わたしたちの神、すなわち純粹の神へと分離します。人は神の言葉の中にあればあるほど、ますます純粹になります——詩 12:6. 119:140。

b. 御父の聖別する言葉はわたしたちの一の根拠であり、わたしたちを一の領域の中へともたらしめます——ヨハネ 17:21. エペソ 5:26。

C. 第三層の一は、神聖な栄光の中の、手順を経て、ミングリングされ、合併された三一の神を表現するための一です——ヨハネ 17:22-24 :

1. 神聖な栄光の中にあるすべての信者の一は、表現された子たる身分の中にある一であり、御父の命と性質を伴っています——22 節. 5:26。

2. 神の栄光は神の表現です。この神性の輝く表現は、わたしたちを自己から救い出して、わたしたちを完全に一にします——参照、啓 21:11。

3. 一のこの段階において、自己は完全に否まれます:

a. わたしたちは、わたしたちの自己、また野心、自分を高く上げること、意見、観念を含めて、そこから救われなければなりません——ヨハネ 17:21-23. ローマ 5:10. I コリント 1:10-13. III ヨハネ 9 節。

b. わたしたちが自己を放棄し、自己を失い、靈に転向するなら、直ちからからだの実際の中にいます——エペソ 2:22. ヨハネ 16:13。

c. もし、わたしたちが自分の命と自分の性質によって生きて、自分自身を表現するなら、神の栄光はありません。わたしたち自身の表現には分裂があります。

d. 御父の命と御父の性質の中で生活し行動して、御父を表現することは、栄光です。この栄光の中で、わたしたちはみな一です。

4. わたしたちのクリスチャン生活は、「栄光から栄光」の生活であるべきです——II コリント 3:16-18。

III. わたしたちは、主がわたしたちに与えられた一を強調する必要があります。

わたしたちはこの一を守るために、絶えず三一の神とミングリングされ（こうして天然の人、この世とサタン、自己を捨てる）、主の渴望を満足させる必要があります——エペソ 4:1-6。

© 2012 *Living Stream Ministry*